



住江織物グループの持続的な成長と
サステナブルな社会への貢献の
両立を目指します。

はじめに

このたび、代表取締役社長に就任いたしました永田鉄平でございます。新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申しあげますとともに、罹患された方々とそのご家族や、生活に影響を受けている方々に心よりお見舞い申し上げます。

中長期経営目標達成への取り組み

住江織物グループはポストコロナを見据え、次なる成長ステージへと踏み出すため、2021年6月から始まる中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」を発表いたしました。当経営目標では、6年間の財務・非財務目標を定めるとともに、3年間の連結収支計画を策定しております。当社グループがこれまでも推し進めてきたESG経営をさらに強化しつつ、健全な利益を着実に上げ、サステナブルな社会に貢献する企業になるべく、次のことを実行してまいります。

売上拡大、成長への基盤づくり

永年培ってきた環境対応技術のさらなる推進、技術革新による独自の加工技術や他社の追随を許さない製品の開発を強化します。

財務体質の改善

DEレシオを2024年5月期までに0.5倍程度にし、企業価値の向上につなげます。

社員の幸せにつながる職場づくり

目の前の業務を遂行するだけでなく、広い視野で改革・

成長できる人材を育成します。同時に、安全・安心な職場環境を整備し、多様な働き方に対応できる勤務制度を確立します。

会社と社員のビジョンの共有

グループ一丸となって同じビジョンに突き進むため、経営・社員のコミュニケーションを潤滑にし、より風通しのよい組織を目指します。

CO₂排出量のさらなる削減

商材では、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」の拡販や、後染め糸から原液着色糸への転換、リサイクル糸の使用量拡大などを通して、CO₂排出量の削減に取り組みます。また事業活動においても、物流の改善や生産拠点の一元化をすることで、貢献します。

ガバナンスの強化

これまでの取り組みをさらに推進し、法令・企業倫理を遵守し社会から信頼される企業を目指します。

これまで当社グループを取り巻く環境は幾度となく変化してきましたが、その都度対応し、成長してまいりました。先行き不透明なコロナ禍においても引き続き企業価値を高め、サステナブルな脱炭素社会への貢献を目指し、全力で取り組んでまいります。

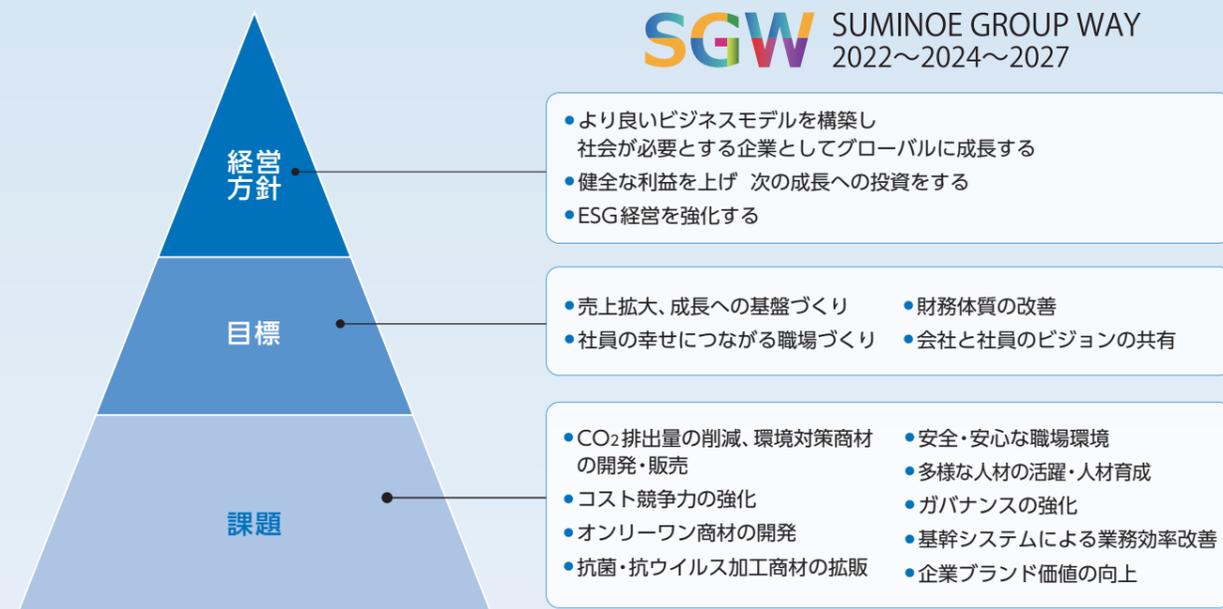
2021年12月

住江織物株式会社
代表取締役社長

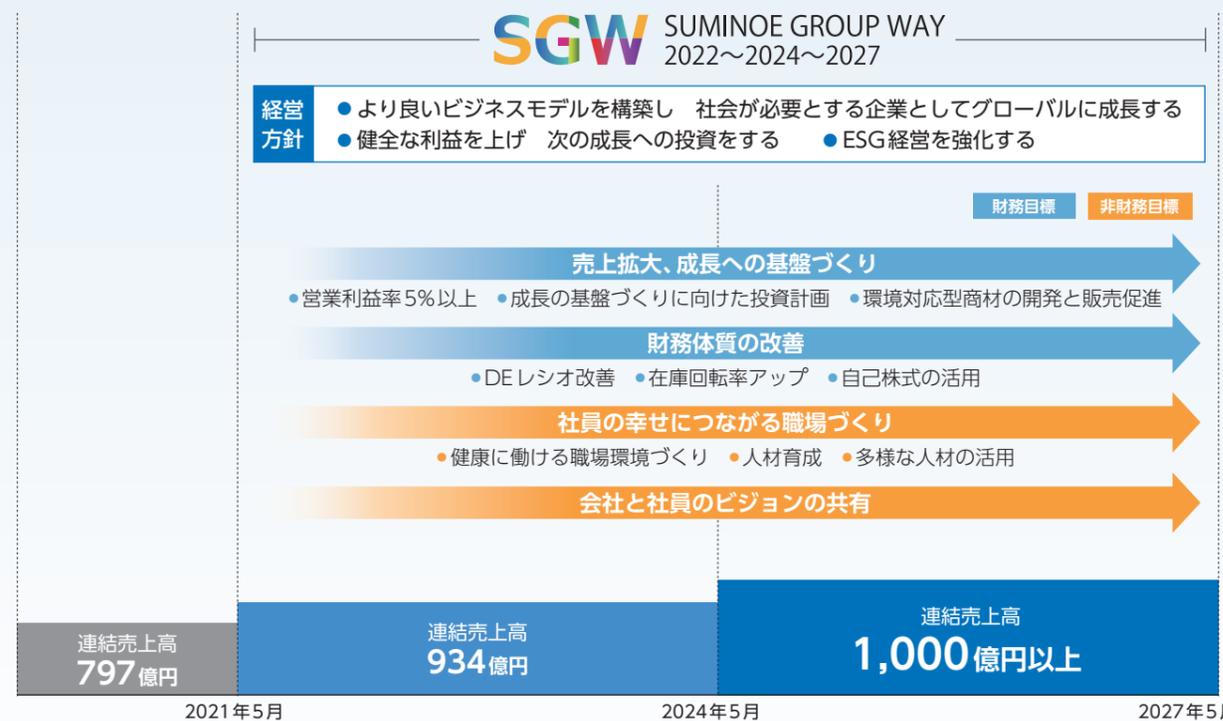
永田鉄平

中長期的な「ありたい姿」を見据え、 2027年5月期までの方針を定めました。

2021年6月から開始する中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」を策定しました。これまで当社グループが取り組んできたESG経営のもと、社会のニーズに応える商材の拡販とグローバル経営を推進し、グループ社員全員の力を合わせて、この中長期経営目標に取り組んでまいります。



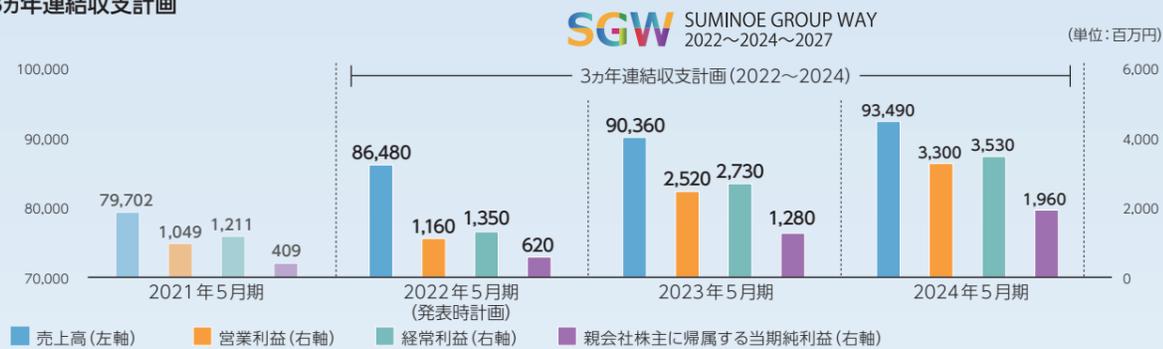
SUMINOE GROUP WAYの方針



3年連結計画(2022年5月期~2024年5月期)概要

当社グループは、ESG経営を念頭に置き、各事業セグメントにおいて、脱炭素社会に貢献する商材および抗菌・抗ウイルス機能加工商材の開発・拡販を進めます。また、基幹システムの再構築により経営基盤を強化すると同時に事業所の再編を進めることで、生産性・競争力向上を図り、さらなる効率化を目指します。

3年連結収支計画



セグメント別数値目標

(単位:百万円)

セグメント	項目	実績	3年連結収支計画(2022~2024)		
		2021年5月期	2022年5月期 (発表時計画)	2023年5月期	2024年5月期
インテリア事業	売上高	31,024	33,750	34,430	35,120
	営業利益	579	400	450	520
自動車・車両内装事業	売上高	45,102	48,980	51,910	54,170
	営業利益	2,102	2,800	3,590	4,170
機能資材事業	売上高	3,130	3,410	3,680	3,840
	営業利益	△87	△140	150	190

投資計画

2022年5月期~2024年5月期の3年間で、事業拡大と基幹システムの再構築および事業所再編に向け、総額100億円の投資を行う予定です。

ESGの取り組み

Environment (環境)

CO₂排出量削減への取り組み

1990年に「スミトロン®」を開発して以来、当社グループ製品によるCO₂排出量の削減に取り組んできました。2021年6月、CO₂排出量削減と環境負荷低減をさらに強化するため、CO₂削減見える化委員会を発足しました。

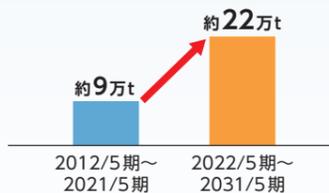
製品でのCO₂排出削減貢献量

- タイルカーペットの循環型リサイクル
- 「スミトロン®」等再生糸の使用量拡大
- 再生PET綿・再生樹脂材の使用量拡大

事業活動でのCO₂排出量の削減

- 物流改善、生産拠点の一元化
- エネルギー効率向上と使用燃料の変更
- 働き方改革

水平循環型
リサイクルタイルカーペット「ECOS®」
10年間のCO₂排出削減貢献量



環境対応型商材の開発

「K(健康)K(環境)R(リサイクル)+A(アメニティ:快適さ)」の開発理念をベースとした研究開発をさらに加速させ、脱炭素社会に貢献します。

CO₂削減に貢献する環境対応型商材の例

水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」

- 2011年発売
- 業界トップクラスの再生材比率最大84%、CO₂削減率最大43%を達成
- これまでの10年間で約9万tのCO₂を削減
- 次の10年間で約22万tの削減を目指す



「スミトロン®」

- ペットボトルの再生ポリエステルチップを50%以上使用
- 耐候・耐熱性に優れているため長期使用が可能
- 環境負荷が少ない原液着色方式



原液着色糸への転換

従来、カーペット表面のパイル糸の染色は、染色処理に伴う排水処理が必須で、大量の水・電力を使用する「後染め」方式で行って来ました。現在、排水の問題がなく、水・エネルギーの削減からCO₂排出量も少ない「原液着色糸(紡糸段階で顔料による着色を施した糸)」の使用に転換しています。

Social (社会)

社員への取り組み

- 安全・安心な職場環境の整備
- ダイバーシティ&インクルージョン
- 人材育成、人材活用
- 全方向コミュニケーション

社会貢献活動

- 災害時における貢献
- 貧困・飢餓への支援寄付

Governance (ガバナンス)

- 基幹システムの再構築
- 社外取締役による経営の意思決定の強化
- 歩き回る経営による双方向コミュニケーション
- コンプライアンス研修の継続実施
- 「企業倫理ホットライン」のさらなる周知
- グローバル・リスクマネジメントの強化
- BCP行動計画

当目標期間に強化する取り組み

奈良事業所再編

事業所内の配置再編・効率化および住江織物テクニカルセンターと住江テクノ(株)開発チームの連携強化を目指し、奈良事業所の再編を進めています。



不要な生産設備の売却や生産設備の集中による「生産効率向上」、物流倉庫の増築や外部倉庫費の削減による「サプライチェーン効率化」、研究開発棟の新設が生み出す、事業部間のシナジー効果の向上や新製品開発のスピードアップによる「研究開発強化」、染色設備や排水処理場の撤去による「環境負荷低減」などの効果を見込んでいます。

スペース デザイン ビジネスの強化

「面」を彩る製品の製造販売・提案にとどまらず、「空間」全体の設計・デザインにも事業領域を拡大し、お客様のご要望をさらに高いレベルで具現化していきます。



店舗設計に関する深い知見と卓越した施工ノウハウを持つ(株)シーピーオーが2020年に当社グループに加わって以降、徐々に相乗効果が出てきています。今後、シーピーオーが得意とする店舗のほか、保育園・学校、医療施設へと事業領域を拡大していきます。